



編集・発行 三鷹市教育委員会 東京都三鷹市下連雀 9-11-7

MITAKA Education Board みたかの教育

紙面から 2面 / 学園長インタビュー(にしみたか学園) / 3 学園の開園10周年
記念式典 / わん!だふる読書体験 / 下連雀五丁目の通学区域変更 ほか

三鷹市教育委員会 ☎ 0422-45-1151

総務課(3213)・学務課(3233)・指導課(3242)・図書館 0422-43-9151 ()内は内線番号

おおさわ学園
大沢台小学校



講師の実技指導を受ける児童たち

夢・未来プロジェクト

令和元年10月29日、国内のオリンピックや著名なスポーツ指導者と直接交流する夢・未来プロジェクト(YOKOSOプログラム)の取り組みとして、元プロ野球選手の佐藤隆彦さんをお招きしました。

384人の全校児童に向けた講演の中では、ずっと大事にしてきたという「念じれば夢叶う」という言葉について、実体験を交えながら低学年の児童にも分かりやすくお話ししていただきました。5年生を対象としたバッティングの実技指導は、雨天のため体育館で行いましたが、バットの持ち方や振り方などについて、一人ひとりに声をかけながら丁寧に教えていただきました。

今回の貴重な機会から子どもたちが学んだことを生かし、本校の教育目標「夢・学び・心～生き生きすこやかに～」の実現に向けて今後も取り組んでいきます。

鷹南学園
第五中学校

文化プログラム・学校連携事業

オリンピック・パラリンピック教育のテーマのひとつである「文化」を切り口に、世界の多様な文化に対する興味・関心を高めることを狙いとして、令和元年9月21日、3年生の授業にプロの音楽家とピアニストを招きました。



プロの音楽家とピアニストが来校

オペラや日本の歌曲のほか、講師の1人が留学先で出会ったという平和への願いが込められたイスラエルの民謡「シャローム アレイヘム」と日本のフォークソング「赤い花 白い花」をこの日のためにアレンジした重唱曲などをたっぷり鑑賞しました。後半の歌唱指導では、響きある声の出し方や日本語のきれいな発音の仕方を具体的に教わり、授業の最後には「大地讃頌」をこれまでで一番の声量で自信を持って合唱することができました。音楽を通して、思いを他者に伝える姿勢などについても考えることができた1日でした。

市立小・中学校で

オリンピック・パラリンピック教育を推進しています



市立小・中学校では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機会を生かし、オリンピック・パラリンピック教育を推進しています。児童・生徒は、日々の様々な教育活動の中でオリンピック・パラリンピックについて学び、国際理解や伝統・文化に対する理解を深めるとともに、スポーツに親しむ態度を身に付けています。各学校で多彩な取り組みが展開されている中で、今回は東京都から指定を受けて実施している特色ある事業についてご紹介します。

↓指導課 内線 3246

連雀学園
南浦小学校



調べた内容を発表する6年生

オリンピック・パラリンピック教育アワード校

南浦小学校では、ボランティア活動や留学生との交流授業などの多様な取り組みを通して、ボランティアマインドや豊かな国際感覚の育成に力を入れており、東京都からオリンピック・パラリンピック教育アワード校として顕彰されました。

令和元年度は、総合的な学習の時間にオリンピック・パラリンピック教育を取り入れ、子どもたちが主体的に学んでいます。5年生では「Road to オリ・パラ」として、起源や種目、選手に注目して調べ学習を進め、3年生に向けて発表しました。6年生では「私たちにもできるSDGs」として、東京2020大会でも掲げられている「SDGs(持続可能な開発目標)」について調べ学習を進め、SDGsに込められた願いや自分たちにできることをコミュニティ・スクール委員会や企業の方々に向けて発表する取り組みを行いました。授業の中に組み込むことで、児童はオリンピック・パラリンピックを自然と身近に感じるようになってきています。

東三鷹学園CS委員会が 文部科学大臣表彰を受賞

令和元年12月2日、東三鷹学園コミュニティ・スクール委員会が、「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。この表彰は、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する活動のうち、他の模範と認められるものに対して行われるものです。同委員会は、地域交流活動、学校・保護者・地域が参加する熟議、学校教育を支援するサポート隊の活動などを推進しました。こうした活動が評価され、今回の受賞となりました。

3213

↓総務課 内線



子どもたちの心と身体健康



教育委員会 委員
さくら い まさはる
櫻井 正治

昨年10月に三鷹市教育委員会の委員に任命されました。私は三鷹市歯科医師会の会員として会長としてながく三鷹市民のお口と身体の健康を支えるお手伝いをさせていただいてきました。また、学校歯科医としても子どもたちの健康診断、健康教育に携わってまいりました。そこでは子どもたちの喫煙や受動喫煙の問題、食育の問題、虐待、特に医療ネグレクトの早期発見といったことにも力を注いできましたが、その中で感じていることは、社会環境の大きな変化によって子どもたちの学校における生活の環境も様々に変化してきているということです。

最近、新聞やテレビで取り上げられる根深いじめの状況、親の虐待やネグレクト、いろいろなアレルギー疾患の増加などがあげられます。タバコの有害性は誰でも知っていることだと思いますが、最近の報道では大麻などのゲートウェイ・ドラッグと言われる薬物も小・中学生にまで広がっているとのこと。これは子どもたちに普及しているSNS上で「タバコより害が少ない」などの誤った情報が流れていることも要因と思われるので、講習会などを通して薬物の怖さを教える必要があります。そして三鷹市は家庭、地域、学校の連携が他地区に比べてたいへん進んでいるところだと思えますので、この三者がしっかりと子どもたちの小さな変化にも目を配って日々変化する社会環境に対応していくことが大切だと考えます。

私は次代を担う子どもたちの健やかな成長を願っており、医療に携わる者として、健康管理や生活習慣を子どもたち自身が身につけられるよう教育委員としての役割を果たしていきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

櫻井正治氏は、令和元年10月1日付けで三鷹市教育委員会委員に任命されました。任期は4年間です。
【略歴】東京歯科大学小児歯科講師・医局長などを経て、昭和59年4月よりさくらい歯科医院勤務、平成12年1月より院長を務める。三鷹市歯科医師会会長、三鷹市健康福祉審議会委員、三鷹市在宅医療・介護連携推進協議会委員などを歴任し、現在、三鷹市歯科医師会監事。

学園長に 聞く！

「にしみたか学園」 自慢の取り組み

にしみたか学園
(第二中・第二小・井口小)



あお き あつし
青木 睦
学園長
(第二中学校長)

三鷹の「学園」第1号

にしみたか学園は、三鷹市における小・中一貫教育のモデル校として、平成18年4月に市内で最初に誕生した学園です。子どもたちとともに育むコミュニティ・スクールの取り組みに理解を示してくださる多くの保護者や地域の方に恵まれ、小学生も中学生も、学校の外でも元気に挨拶できる子が多いです。コミュニティ・スクール委員会が毎年作成している「学園カレンダー」には、小・中学校の行事と、子どもたちが楽しみにしている地域の行事の年間予定が掲載されており、学校・家庭・地域をつなぐ役割を果たしています。

盛んな小・中の交流 憧れの中学生

小学6年生では、中学校の教員による「乗り入れ授業」を実施していますが、英語のスピーキング力の向上など学力面での成果が上がっており、また中学校での勉強に向けて前向きな姿勢を育てることもつながっています。今年度から始めた小学6年生の中学校授業体験「プレ講座」についても、9割以上の児童がアンケートで「楽しかった」と回答しています。



あいさつ運動

にしみたか学園では、ボランティア活動を通した小・中の交流も盛んです。二小と井口小の運動会やあいさつ運動の期間などには、毎年多くの二中学生がボランティアに来てくれます。小学生は優しくてカッコいい中学生に憧れ、中学生になると積極的にボランティアに参加するようになります。また、小学校の代表委員会と中学校の生徒会の合同活動の中では、今年度は、どうすればみんなが気持ちよく学校生活を送れるかについてともに話し合い、いじめ防止を目的とした学園のイメージキャラクターづくりに取り組んでいます。

コミュニティ・スクール委員会では、こうした学園の子どもたちの良いところを評価したうえで、子どもたちに足りない力と分析する「自ら考える力」「失敗を恐れず積極的にチャレンジする力」をどのように身に付けさせていくか、昨年度から始めた3校の全教員とコミュニティ・スクール委員による「合同熟議」の中で意見交換を重ねています。

子どもたちが大人になって

地域にお住まいの茶道の先生のご協力を得て、中学3年生の修学旅行(京都・奈良)の事前学習として昨年度から実施している茶道の体験学習に、20代の卒業生がお手伝いに来てくれています。

また中学3年生は毎年3月に、地域の方と一緒に学区全域の清掃活動を行うことが伝統になっており、今年度で35回目を迎えます。子どもたちには、卒業にあたって地域へ恩返しをする気持ちで参加してほしいと思っています。

にしみたか学園を巣立っていく子どもたちが、お世話になった地域への感謝の心を持ち続け、いつか進んで地域や学校をサポートできる大人になってくれることを期待しています。



地域の方を講師に迎えた茶道の体験学習

令和2年4月から下連雀五丁目の通学区域を一部変更します

下連雀五丁目(日本無線株式会社跡地)に大規模共同住宅の建設が進んでいます。令和2年度以降にこの地区の児童・生徒数の増加が見込まれることから、教育委員会では「三鷹市立学校の通学区域に関する規則」を改正し、令和2年4月から同地区の通学区域を、高山小学校・第三中学校から児童・生徒数が減少している第一小学校・第六中学校へ変更することとしました。

また、同地区の西側隣接地域の通学区域を、高山小学校・第三中学校から第六小学校・第一中学校へ変更します。経過措置として、令和2年3月31日までに第四小学校・高山小学校・第三中学校に就学している児童・生徒については、当該校を卒業するまで、また、兄弟が就学している場合についても、当該校への就学を可能とします。

⇒学務課 ☎ 内線 3232

	変更前	変更後
日本無線跡地共同住宅 (下連雀五丁目1番1号)	高山小・第三中	第一小・第六中
西側隣接地域 (下連雀五丁目7～9番)	高山小・第三中	第六小・第一中

川上郷自然の村をご利用ください！

川上郷自然の村は、高原野菜の産地として有名な長野県の川上村にある三鷹市の校外学習施設です。市立小・中学校が使用しない期間は、保養施設・宿泊施設として広く一般の皆様にご利用いただいております。近隣のスキー場の1日リフト券がセットになったお得な宿泊プランや、スキー・スノーボードやスノーシューを満喫できる三鷹市役所発着のバスツアーの申込を受け付けていますので、ぜひご利用ください。

■宿泊料金 大人3,700円から、小学生2,500円から(1泊2食付き)

⇒総務課 ☎ 内線 3213

宿泊の 問合せ

三鷹市川上郷自然の村
〒384-1406 長野県南佐久郡川上村大字原591番地362
☎0267-97-3206 FAX0267-97-3207 HP <http://www.sizennomura.jp/>

※体育館と屋外施設(グラウンドなど)は、当面の間利用できません。

「10年」を継承し、さらなる発展へ 3学園の10周年を合同で 祝いました



舞台上で力強く宣言する3学園の小・中学生

令和元年11月16日、三鷹市公会堂光のホールで、三鷹の森学園、三鷹中央学園、鷹南学園が合同で開園10周年記念式典を開催しました。

多くの来賓の皆様をお迎えし、各学園のコミュニティ・スクール委員、児童・生徒代表、開園当初から現在までの地域の協力者の皆様、市立学校の教員など600人以上が参加して、児童・生徒による学園の未来に向けた宣言、「これまでの10年間でふりかえり、これからの10年間で創造する」をテーマとした各学園からの発表、文部科学省CSマイスター(※)の安齋宏之氏(福島県本宮市立五百川小学校長)と四柳千夏子氏(みたかSCサポートネット共同代表、三鷹市統括CS推進員)による記念講演が行われました。

平成18年度ににしみたか学園、20年度に連雀学園、東三鷹学園、おおさわ学園、そして21年度に三鷹の森学園、三鷹中央学園、鷹南学園が開園し、今では市内の全7学園が10年以上の歴史を持つことになりました。今後、各学園において、コミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育をより充実、発展させ、学校を核としたコミュニティ(スクール・コミュニティ)の創造に向けて取り組んでいきます。

※CSマイスターは、文部科学省からの委嘱を受け、コミュニティ・スクールの導入や拡充を目指す全国の教育委員会や学校等に対して助言や支援を行う活動をしています。

⇒指導課 ☎ 内線 3245

みんなが笑顔になる 図書館の取り組み 「わん！だふる読書体験」



市立図書館では、子どもたちが犬のために本を選び、犬と触れ合いながら本を読んであげることによって読書の楽しさを感じてもらおう「わん！だふる読書体験」を実施しています。

プログラムは、犬とのふれあい教室と、実際の読み聞かせ体験の2回構成となっています。ふれあい教室では、犬と触れ合いながら、様々な場面でのように犬と接したらよいのか、犬の気持ちを考え、どうしたら仲良くなれるかなどについて学びます。かわいい犬との交流を通して、読み聞かせをする日が待ち遠しくなり、どの子もわくわくしながら本を選び始めます。1〜3週間後、いよいよ読書サポート犬と対面。ふれあい教室で学んだ犬との挨拶でスタートし、犬と1



ふれあい教室



読み聞かせ体験

対1で、静かに寄り添う背中をなでたり、一緒に寝そべったりと、思い思いのスタイルで、選んだ本を15分間たっぷり読んであげます。読み終えた後はご褒美のシールをもらい、他の犬や子どもたちと一緒に、抱っこやお散歩などのふれあいタイムを楽しみます。

↓三鷹図書館(本館) ☎ 43-9151